

## 基礎交付金事業実績書

団体名：石森コミュニティ運営協議会

1 総事業費 4,567,666 円

## 2 事業内容

(1) 事業名 石森コミュニティ祭事業

事業費	798,486 円
事業内容	<p>◆第35回石森コミュニティ祭 開催日：11月13日（日） 会場：石森ふれあいセンター 内容：ステージイベント（よさこい・フラダンス・舞踊）、各種講座等の作品展、写真展、ラッキー抽選会 参加者：227名</p>
事業成果	<p>・3年ぶりの開催となった石森コミュニティ祭は、コロナ禍前の行政区ごとに演技を披露する方法ではなく、ステージイベントの観覧と各講座で作った作品の展示観賞の形にした。写真展では、昔の石森地域の写真を展示した。 また、ラッキー抽選会も以前のやり方ではなく、来場時に抽選し、退場時に賞品を渡す方法とし、役員の協力のおかげでスムーズに行えた。 コロナ禍でも開催できるように工夫をし、久しぶりに集う楽しみを感じ、地区民相互の親睦が図られた。</p>

(2) 事業名 健康増進スポーツ事業

事業費	300,400 円
事業内容	<p>◆ふるさとスポーツ祭地区大会 ①ビニールバレーボール・ソフトボール大会 開催予定日：5月29日（日） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止 ②ユニカール大会 開催予定日：6月23日（木） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止 ◆体育事業関係 内容：ノルディックウォーキングポール（20セット）、ボッチャ（2セット）の購入</p>
事業成果	<p>・コロナ禍の影響を受けて、スポーツ・レクリエーションに親しみ、親睦を図る機会が減ってしまったが、ニュースポーツ用品を充実させ、次年度以降の大会に備えることとした。</p>

(3) 事業名 世代間交流事業

事業費	122,864 円
事業内容	<p>◆石ノ森章太郎ふるさと記念館夏祭り（共催事業） 開催予定日：8月 会 場：石ノ森章太郎ふるさと記念館 内 容：ステージイベント、神輿渡御、抽選会ほか ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止</p> <p>◆加賀野ふれあい夏祭り（共催事業） 開催日：7月 会 場：加賀野小学校 内 容：新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から従来どおりのお祭りは中止。 小学校の児童による夏祭りのパフォーマンスを地域に発信。 7月15日（金）～ ・盆踊り風景をYouTube配信。 ・DVDを制作し、学区内行政区に配付。 7月12日（火）～7月21日（木） ・6年生が制作した灯籠を石森ふれあいセンターほか地域内4カ所の店舗や施設において展示。</p>
事業成果	<p>・加賀野ふれあい夏祭りは、従来の学区内の人たちが大勢集まって行うお祭りではなく、コロナ禍でも楽しめるように工夫して開催した。 子供たちによる盆踊り風景をYouTubeで配信したり、制作したDVDを鑑賞することにより家族や友人などとの会話や交流のきっかけを作ることができた。 また、灯籠作りを通して、子供たちと指導者（地域住民）の交流が図られた。さらに、事業所等の協力により、作品を地域内の店舗や施設に展示したことで、子供たちの作品制作意欲の向上や地域の人たちの興味・関心の高まりにつながった。</p>

(4) 事業名 コミュニティ組織運営事業

事業費	1,831,579 円
事業内容	<p>◆各部会、役員会等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・総 会 4月23日（土）27名（委任状13名）</li><li>・会計監査 年2回（4月、10月）15名</li><li>・総務部会 年6回（4月、6月、8月、10月、1月、3月） 計113名</li><li>・事務局会議 毎月第2木曜日 年12回 103人名</li><li>・体育部会 年1回（4月）22名</li><li>・文化部会 年2回（4月、10月）61名</li><li>・女性部会 年2回（4月、10月）67名</li></ul> <p>◆新春懇談会 開催予定日：1月6日（金）</p>

	<p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止</p> <p>◆役員研修会 開催日：11月16日(木) 行先：一関市・平泉町方面（北上川学習交流館ほか） 参加者：14名</p> <p>◆環境整備 内容：①各行政区に花苗配付（花いっぱい運動） 実施：6月 内容：②除草作業 回数：年2回（5月、9月） 参加者：計127名</p> <p>◆石森ふれあいセンターだより発行 発行回数：年11回（2,500枚×11回）</p> <p>◆石森コミュニティ運営協議会防災訓練 開催日：3月4日(土) 会場：石森ふれあいセンター 内容：参加者を3班に分けて、訓練体験 ①簡易テント・エアベットの組立・撤収 ②応急手当などの救急救命処置 ③119通報、給水車からの給水体験・非常食作り体験 参加者：67名（各行政区から3名程度、関係機関から数名）</p>
事業成果	<p>・コロナ禍においても、必要な会議や部会は定期的で開催し、常に情報の共有を図り、共通認識の基に運営に努めた。このことにより、自治意識、コミュニティ意識の向上を図ることができた。</p> <p>また、住民の防災意識の高揚を図るため、防災訓練を実施した。さらに、石森ふれあいセンターだよりを毎月発行することにより、行事等の情報発信をすることで、石森地域の連帯感を欠くことのないよう努めた。</p>

(5) 事業名 先進地視察移動研修事業

事業費	22,300円
事業内容	<p>◆先進地視察研修会 開催日：11月17日(木) 場所：宮城県本吉郡南三陸町、岩手県陸前高田市 内容：被災地の復興状況視察、防災学習 ①宮城県本吉郡南三陸町南三陸 311メモリアルの見学及び「今日からできる 防災1アクション」のワークショップの受講。 ②岩手県陸前高田市の東日本大震災津波伝承館の見学 参加者：11名</p>
事業成果	<p>・防災ワークショップの受講や現地で震災復興状況を見聞したことにより、防災について改めて考え、震災への正しい理解と知識向上が図られた。また、参加者の交流</p>

	<p>を深める良い機会となった。</p> <p>今後の防災への取組に対するヒントを得るなど、充実した研修になった。</p>
--	---

(6) 事業名 地域づくり全体プロジェクト事業

事業費	406,447 円
事業内容	<p>◆会議等</p> <p>①地域づくり実践PJ全体会議 年3回 58名</p> <p>②個別会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暮らしの場活力PJ会議 年5回 48名</li> <li>・暮らす人つながりPJ会議 年3回 30名</li> <li>・広報編集会議 年2回 6名</li> </ul> <p>◆環境整備</p> <p>開催日：年3回（5月、6月、9月）</p> <p>内 容：花壇への芝桜植え及び除草作業</p> <p>参加者：計 39名</p> <p>◆情報発信</p> <p>内 容：地域づくり広報紙「にぎわい通信いしのもり」発行</p> <p>発行回数：年2回 第20号（6/1）、第21号（3/16）</p> <p>◆活動奨励金交付事業</p> <p>内 容：行政区において地域の活性化を図ることを目的として実施する事業に対し、奨励金を交付して活動を支援する。行政区長からの申請に基づき審査を行い、交付する。</p> <p>申 請：15 行政区</p> <p>交 付：15 行政区</p>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙を発行して、地域づくり事業の様子やイベントの募集などいろいろな情報発信をすることにより、地域づくり実践プロジェクトの活動への関心を高めることができた。</li> <li>・ふれあいセンターの花壇をきれいにし、癒しの場を作る環境整備活動が地域の人たちのコミュニケーションの場となり、スムーズな地域づくり活動の手助けになっている。</li> <li>・活動奨励金交付事業は、行政区内での敬老会やミニディ、スポーツ大会、クリスマス会、防災訓練、視察研修会、地区探検会など様々なコミュニティ活動に活用され、行政区内の活性化と親睦が図られた。</li> </ul>

(7) 事業名 暮らしの場活力プロジェクト事業

事業費	211,470 円
-----	-----------

事業内容	<p>◆環境改善：道路清掃クリーン模範路づくり活動 開催日：年2回（6月、10月） 内 容：ゴミのポイ捨て多発エリアの道路清掃活動による環境美化の啓発 参加者：計80名</p> <p>◆交通関係改善：交通安全標語の募集（共催事業） 内 容：交通安全啓発用標語の募集と活用 石森小学校、加賀野小学校の6年生を対象に募集。 応募作品 71点（児童全員） 表 彰 最優秀賞1点、優秀賞2点 標語活用 入選標語でのぼり旗を作製し、交通安全運動の期間中、地域内に設置して交通安全の啓発を行った。</p> <p>◆観光の促進：おさんぽ MAP でスタンプラリー（共催事業） 開催日：年2回（5月、1月） 内 容：昨年度発行した観光マップ「石ノ森章太郎のふるさとおさんぽ MAP」を活用した事業。 石森地区内に設置してある石ノ森章太郎氏の萬画作品のキャラクターモニュメント5カ所を巡ってスタンプを集めるイベント。 参加者：計80名</p> <p>◆豊かな農業：家庭菜園の体験 期 間：5月～2月 内 容：遊休農地を活用した農業体験事業。 家庭菜園の体験希望者を募集し、畑を無料で貸与した。 体験者：7名</p> <p>◆地域活性化 ①えんむすび初詣 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止 ②農作物限定フリーマーケット ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止</p>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石森地区内の小学生から交通安全意識啓発のための標語を募集し、入選作品を交通安全活動で使用するにより交通事故防止の一助とし、安心して暮らせる地域社会の実現に資することができた。児童の交通安全意識が高まるとともに、地元の小学生が作った標語のため、地域全体において一層の啓発につながった。</li> <li>・昨年度作成した観光マップを活用した観光PRイベント「石ノ森章太郎のふるさとおさんぽ MAP でスタンプラリー」を開催し、地域内を散策することにより、石森地区を広く知ってもらう機会となり、地域の資源の有効活用が図られた。</li> </ul>

(8) 事業名 暮らす人つながりプロジェクト事業

事業費	237,664円
事業内容	<p>◆生き生き交流：餅つき&amp;お供えもち作り体験 開催日：12月17日（土）</p>

会 場：石森ふれあいセンター

内 容：昔ながらの臼と杵を使った餅つきとお供え餅作りの体験。

参加者：29名

◆介護教室：認知症サポーター養成講座

開催日：2月18日（土）

会 場：石森ふれあいセンター

内 容：認知症に関する勉強会

参加者：計17名

◆石森の歴史を学ぶ

①石森歴史のバスツアー

開催日：7月2日（土）

場 所：石森地域内と石越町

内 容：「石森歴史の散歩道」改訂版に掲載している石森地内の文化財・史跡・神社仏閣などをバスで巡る。

参加者：32名

②石森ふるさとを語る会学習会

開催日：年2回（7月、10月）

内 容：石森地区の文化的遺産を発掘、調査研究し、その資料を後世に伝承する活動。

参加者：計27名

◆心ふれあう仲間づくり

①ドラムサークル

開催日：7月23日（土）

会 場：石森ふれあいセンター

内 容：打楽器（パーカッション）を使い、リズムアンサンブルをつくる参加型音楽ワークショップ

参加者：13名

②瓢箪ランプ作り講座

開催日：年3回（9月、10月、11月）

会 場：石森ふれあいセンター

内 容：瓢箪を栽培・収穫し、瓢箪ランプを制作。

参加者：24名（8名×3回）

③ニュースポーツ大会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。

◆相互扶助育成

①高齢者見守り活動：75歳以上の独居老人へのXmasプレゼント

実施日：12月17日（土）～12月24日（土）

内 容：瓢箪ランプ作り講座受講者と地域づくり実践PJ員が瓢箪飾りを、地域内のボランティア活動団体の方々が籠を手作りし、行政区長、民生児童委員、地域づくり実践PJ員が地内の独居老人宅を訪問して贈呈。

	<p>対象者：68名（希望者）</p> <p>②フードドライブ：家庭の食品ロス削減と共助による生活困窮者の支援</p> <p>期 間：10月8日～3月11日（11回受付）</p> <p>内 容：家庭で使いきれずに余っている食品を集めて、登米市内のフードバンク等の生活困窮者支援団体に寄付し、食料の支援を必要とする世帯や福祉施設などに無償で提供する活動。</p> <p>提供者：38名</p> <p>提供数：459点（米、インスタント・レトルト食品、缶詰等）</p>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>餅つき&amp;お供えもち作り体験は、昔ながらの臼と杵を使った餅つきとお供え餅作りを体験。参加したお年寄りは昔を思い出し、子どもたちは、初めて杵と臼を使って餅をつき、そのついた餅でお供え餅を作ったことで、とても感動していた。餅つきを通して、世代間の交流と郷土文化の伝承につながった。</li> <li>歴史のバスツアーは地域内の史跡等を紹介した「石森歴史の散歩道」という冊子を見ながら、歴史案内人に詳しく説明してもらい、現地を見てまわり学習の場としてはもちろん地域内に興味や関心を持つきっかけづくりとなっている。</li> <li>高齢者見守り活動は、石森地区の75歳以上の独居老人へ地域づくり実践PJ員や地域の人々、ボランティア団体とで協力して手作りしたプレゼントを、民生児童委員とコミュニティ役員等が連携して贈り、地域の人々のつながり、孤立防止、情報共有が図られた。また、独居老人から感謝の言葉やはがきをいただき、活動の励みとなっている。</li> </ul>

(9) 事業名 芸術鑑賞事業

事業費	636,456円
事業内容	<p>◆芸術鑑賞会</p> <p>開催日：10月9日（土）</p> <p>会 場：石森ふれあいセンター</p> <p>内 容：音楽鑑賞（パフォーマンス・パフォーマンス Calamus -カラムス-）</p> <p>参加者：87名</p> <p>◆石森地区老人クラブ学習会（共催事業）</p> <p>開催日：2月22日（木）</p> <p>会 場：石森ふれあいセンター</p> <p>内 容：庄司恵子&amp;KASUMI 親娘による交通安全講話、親娘ショー</p> <p>参加者：165名</p>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナの影響で昨年度から延期となっていた芸術鑑賞会だったが、感染防止対策を万全にして開催した。一流のミュージシャンが奏でるマリンバとヴィブラフォンの素晴らしい音色に、身近で音楽に親しみ感性を養うことができ、久しぶりに住民が集い、賑わいのある地域づくりに資することができた。</li> <li>石森地区老人クラブとの共催で開催した学習会は、庄司恵子&amp;KASUMI 親娘による交通安全講話と親娘ショーの公演を行った。</li> </ul>

	<p>コロナ禍のため大声でなかなか笑えなかった状況が続いていたが、ズーズー弁によるパフォーマンスの連続に、会場は大いに盛り上がり、地域住民相互の親睦とコミュニケーションを図ることができた。</p>
--	--